

管理番号	172
がん腫	大腸
レジメン名	Encorafenib+Binimetinib+C-mab
1 コース日数	7 日
催吐性リスク分類	最小度

催吐性リスク分類	使用制吐剤
高度	Day1 : ホスアプレピタント注 150mg 又は アプレピタント Cap125mg+パロノセトロン注 0.75mg+デキサメタゾン注 9.9mg Day2-3 : アプレピタント Cap 80mg 1×朝食後+デキサメタゾン錠 4mg2 錠 2×朝食食後 ⇒APR は day1 に cap を投与した場合
中等度	Day1 : パロノセトロン注 0.75mg +デキサメタゾン注 9.9mg Day2-3 : デキサメタゾン錠 4mg2 錠 2×朝食食後
軽度	Day1 : デキサメタゾン注 6.6mg
最小度	なし

・治療スケジュール

薬剤名	投与量	投与時間	日数																				
			1	2	3	4	5	6	7														
デキサメタゾン d-クロルフェニラミン	6.6mg 5mg	30 分	↓																				
セツキシマブ	250mg/m <sup>2</sup>	90 分	↓																				
エンコラフェニブ	300mg/day	夕食後	→	→	→	→	→	→	→														
ビニメチニブ	90mg/day	朝夕食後	→	→	→	→	→	→	→														

・備考

セツキシマブの投与時間：初回 90 分、2 回目以降 60 分に短縮可。

セツキシマブの投与量：初回 400mg/m<sup>2</sup>